



十勝アウトドア観光推進プラン

～アウトドアの聖地「十勝」の推進～

令和3年3月23日

経済産業省 北海道経済産業局

北海道十勝総合振興局

帯広市・音更町・士幌町・上士幌町・鹿追町
新得町・清水町・芽室町・中札内村・更別村
大樹町・広尾町・幕別町・池田町・豊頃町
本別町・足寄町・陸別町・浦幌町

【資料全体に関する問い合わせ先】

中札内村産業課産業グループ

電話：0155-67-2495 FAX：0155-67-2156

E-mail：s-sangyo@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

0. はじめに

- 経済産業省北海道経済産業局・北海道十勝総合振興局・十勝19市町村では、十勝地域の事業者や関係団体との意見交換等を踏まえ、「十勝アウトドア観光推進プラン」を策定。
- 推進期間を3か年（令和3年度～令和5年度）とし、今後、十勝地域が一丸となり、アウトドア観光の推進に取り組んでいく。

十勝アウトドア観光推進プラン策定までの経過

観光による地域の活力創出に向けた取組に関する覚書の締結（令和2年2月）

※経済産業省北海道経済産業局と帯広市の締結

＜十勝地域の事業者等との意見交換＞

十勝アウトドア観光推進マスタープランの策定（令和2年10月）

＜十勝アウトドア観光会議等における意見交換＞

十勝アウトドア観光推進プランの策定（令和3年3月）

経済産業省北海道経済産業局

北海道十勝総合振興局

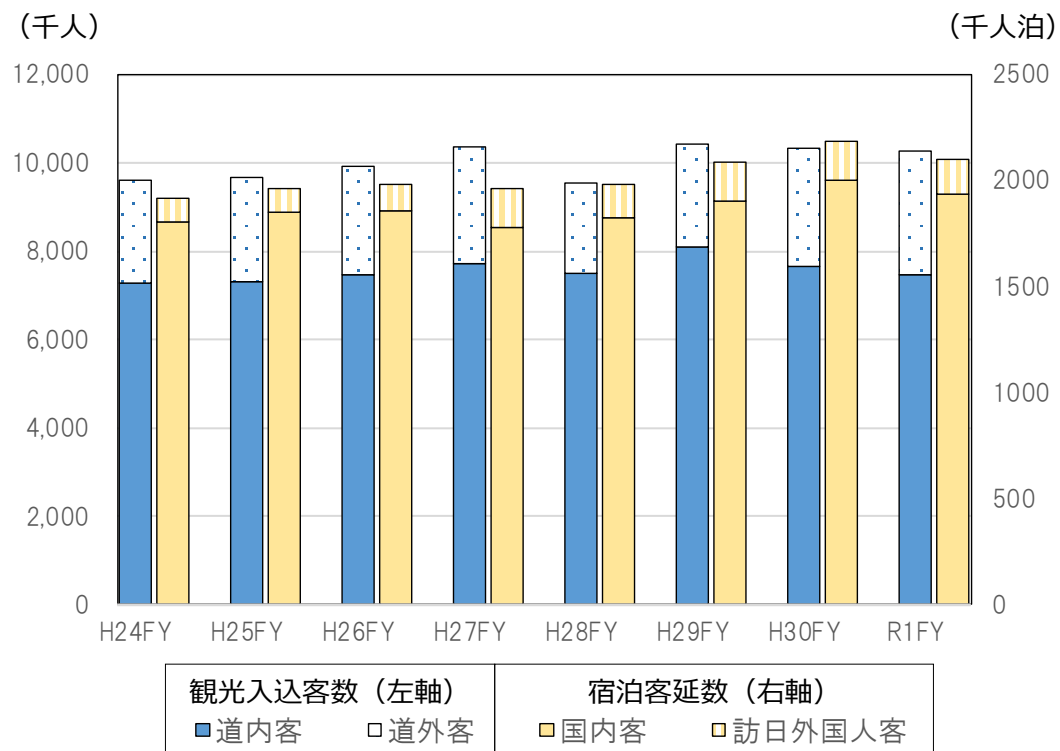
十勝19市町村

十勝地域を挙げての推進

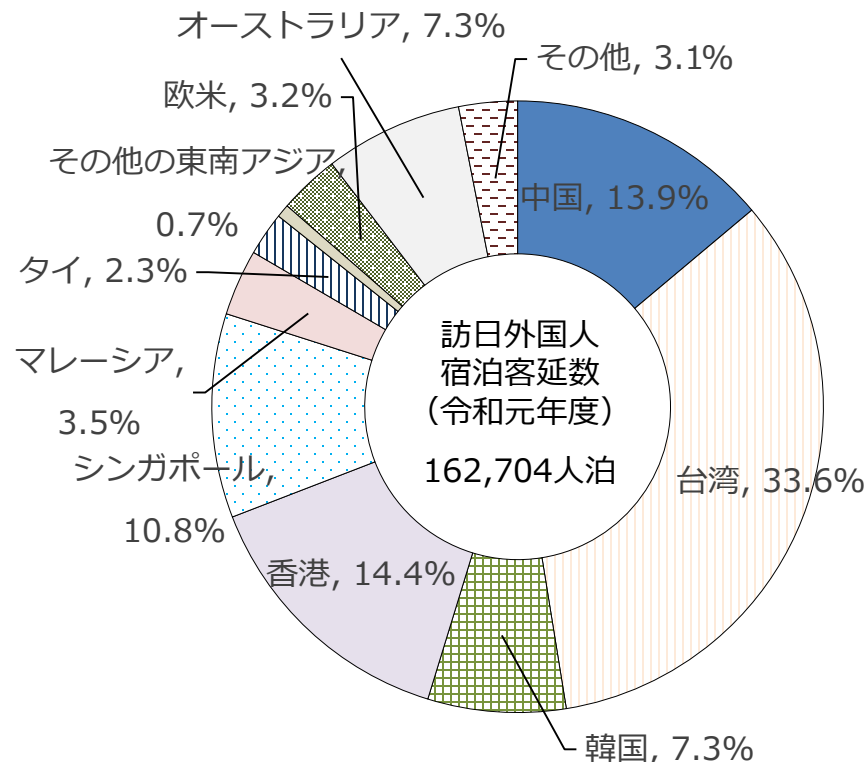
1. 十勝地域における観光の現状（令和元年度）

- 十勝地域の観光入込客数や宿泊客延数は、堅調に推移しており、道内客に比べて道外客、国内客に比べて訪日外国人客の伸びが大きい。
- 訪日外国人客は、台湾や香港をはじめとするアジア圏からの観光客が9割を占めている。

十勝地域の観光入込客数・宿泊客延数の推移



十勝地域の訪日外国人宿泊客延数の内訳



注) 単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある

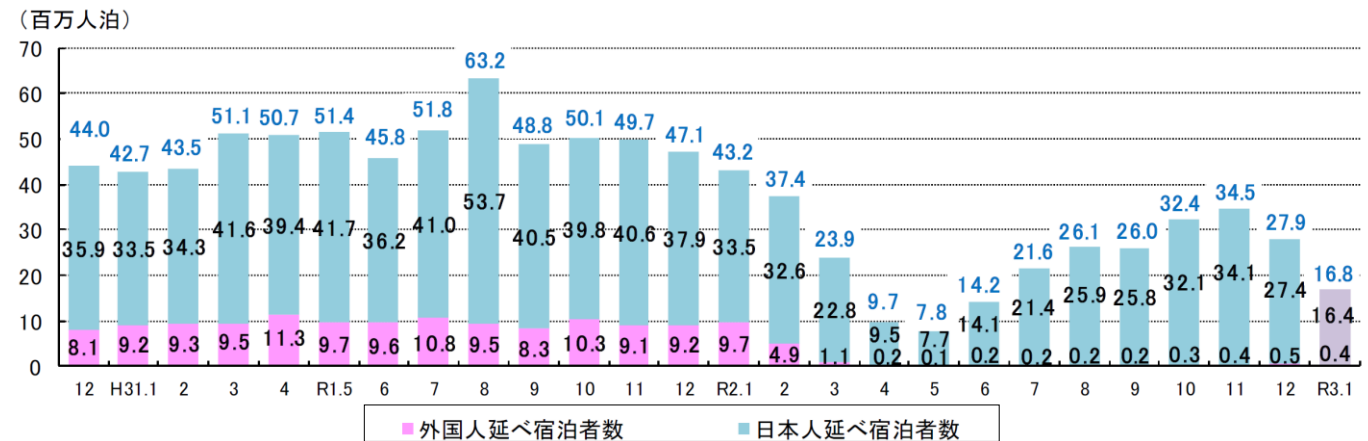
資料：北海道十勝総合振興局「十勝管内観光入込客数について」より作成

1. 十勝地域における観光の現状（新型コロナウイルス感染症による影響）

- 新型コロナウイルス感染症により、国内外の観光需要は大幅に減少。十勝地域にも大きな影響。
- 他方、観光需要の減少が地域経済に大きな影響を及ぼしたことにより、**観光が地域経済にとって重要な役割を果たしている**ことを改めて認識。

全国の延べ宿泊者数の推移

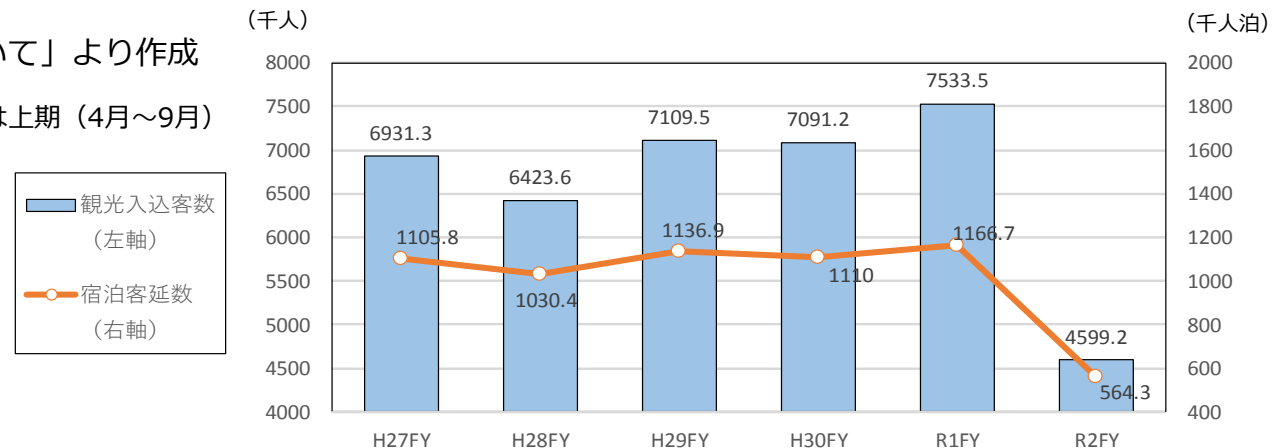
資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」



十勝地域の観光入込客数・宿泊客延数の推移

資料：北海道十勝総合振興局
「十勝管内観光入込客数について」より作成

注) 観光入込客数及び宿泊客延数は上期（4月～9月）



2. 我が国の観光政策の現状と将来展望

- 我が国において、**観光は成長戦略の柱、地方創生の切り札**。
- 国内旅行需要を強力に喚起するとともに、感染症終息後の中長期的スパンにおいて、引き続き、重要となるインバウンドの回復を図る。

明日の日本を支える観光ビジョン（平成28年3月30日 明日の日本を支える観光ビジョン構想会議）

○新たな目標を設定

訪日外国人旅行者数

<2020年>

4,000万人

<2030年>

6,000万人

訪日外国人旅行消費額

8兆円

15兆円

地方部での外国人延べ宿泊者数

7,000万人泊

1億3,000万人泊

外国人リピーター数

2,400万人

3,600万人

日本人国内旅行消費額

21兆円

22兆円

これらを踏まえ、取組を決定

観光ビジョン実現プログラム2020（令和2年7月14日 第13回観光立国推進閣僚会議）

○政府の**今後1年を目途とした取組**を決定

I. 国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化

①反転攻勢に転じるための基盤の整備

②国内旅行の需要喚起

③インバウンドの回復

段階を追って実施

II. インバウンド促進に向け引き続き取り組み施策

●受入環境整備

（例）多言語対応

無料Wi-Fiの環境整備 等

●新たなコンテンツづくり

（例）アドベンチャーツーリズムの推進 等

インバウンドの
再開に備える

3. 十勝地域の観光の方向性（課題と必要な取組）

- 十勝地域の課題は、**中長期的な国内観光客数の減少**や季節偏在、弱い誘客力・宿泊割合のほか、**新型コロナウイルス感染症によって新たに生じた諸課題への対応等**が挙げられる。
- 課題を踏まえ、観光施策のシフトや誘客地域の偏在への対策、インバウンドの取り込み、安心・安全な受入環境の整備等の取り組みが必要。

十勝地域における観光の課題

○**人口減少・少子高齢化による中長期的な国内観光客数の減少**

- 季節偏在（夏季に比して冬季が閑散期）
- 他地域に比して弱い誘客力（道央や道南などの道内他地域に比して観光客・宿泊客・インバウンドが少ない）
- 二次交通の不足（移動手段が少なく不便）
- 過大な移動時間（地域内の距離が長い）

○**新型コロナウイルス感染症によって新たに生じた諸課題への対応** 等

必要な取組

1. 施策目標のシフト

『観光入込客数の増加』⇒『宿泊客延数・観光消費額等の増加』へのシフトが急務

2. 誘客地域の偏在への対策

インバウンドに傾注していた誘客対象の見直しが必要

3. 中長期的なインバウンドへの対策

中長期的には、人口増加・経済成長を続ける諸外国からの観光客の取り込みが不可欠

4. 安心・安全な受入環境の整備

感染症や自然災害等のリスクを踏まえた観光客の安心・安全な受入環境が重要

3. 十勝地域の観光の方向性（アウトドア観光の可能性①）

- 十勝地域におけるアウトドア※は、豊かな自然環境や様々なコンテンツのほか、広大な面積と低い人口密度による3密回避など、**他地域に比して優位性**がある。
- アウトドア観光には、**十勝地域の経済活性化に繋がる大きな可能性**がある。

観光課題を踏まえた必要な取組

1. 施策目標のシフト
2. 誘客地域の偏在への対策
3. 中長期的なインバウンドへの対策
4. 安心・安全な受入環境の整備



アウトドア観光の可能性

1. 豊かな自然環境を活かした**他地域に比しての優位性**

- 山麓や森林、平野、河川、湖沼等の多様なフィールドが存在
- 豊かな自然環境を活かした様々なコンテンツ
- 地域の特色を活かしたアクティビティや取組の存在 等

2. 観光消費額の高い**アドベンチャーツーリズムの推進**

十勝地域におけるアウトドアは、欧米豪観光客や富裕層に対して訴求できる可能性を有している。

3. 広大な面積と低い人口密度による**3密回避の地域性**

3密を回避する環境が整っており、ウィズコロナに合った安心・安全な受入環境として適している。

十勝地域の経済活性化に繋がる大きな可能性

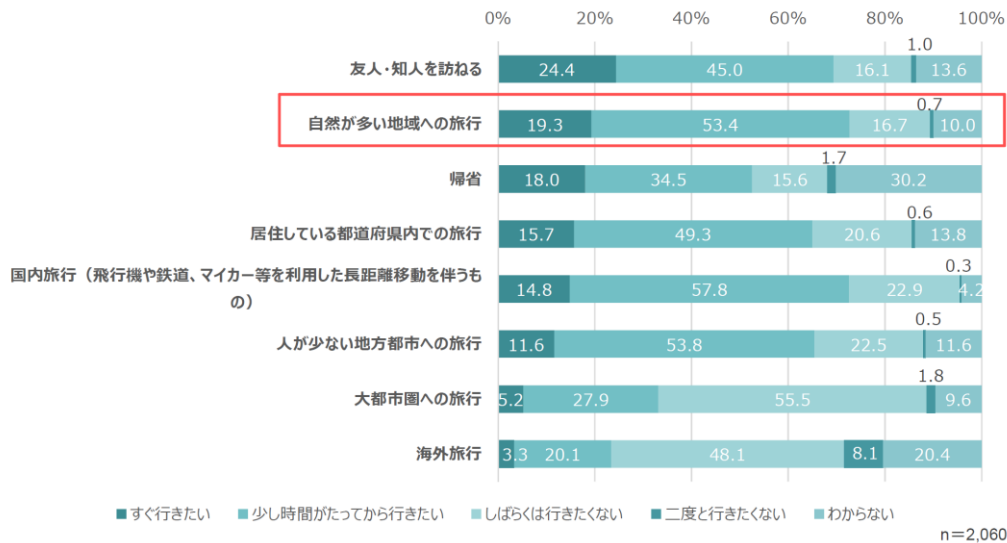
※アウトドアとは

アウトドア・アクティビティの略称。自然の中で、自然の恵みを受けながら、自然とふれあうために行われる野外活動をいう。具体的には、キャンプやサイクリング、ハイキング、ラフティング、パラグライディング、釣り、野鳥観察等の野外活動を指す。

3. 十勝地域の観光の方向性（アウトドア観光の可能性②）

- コロナ禍以降、**国内旅行、インバウンドともに自然の多い地域が好まれる**傾向。
- 優位性のある十勝地域において、アウトドア観光を推進することは、今後のトレンドを踏まえても、国内外からの誘客に大きく寄与。

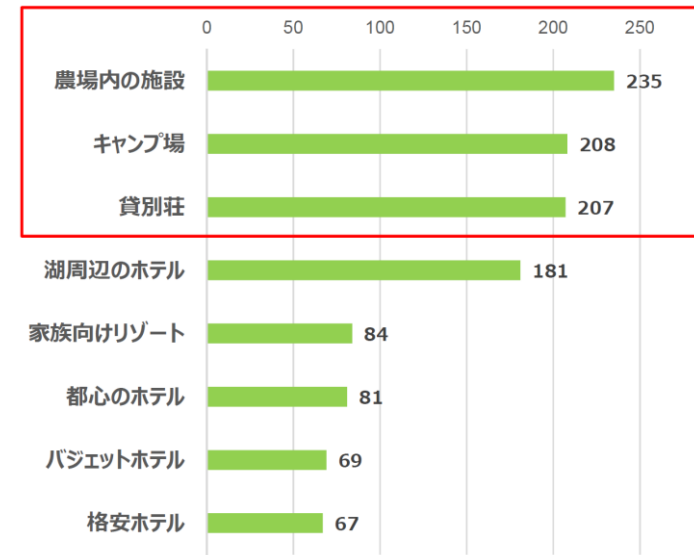
渡航や外出自粛が緩和された場合、 どんな旅行にいつ頃行きたいか（国内旅行）



- 調査時期：2020年4月27日～29日
- 調査対象：国内の男女（15歳～79歳）2,060名

資料：JTB・JTB総合研究所「新型コロナウイルス感染拡大による、暮らしや心の変化及び旅行再開に向けての意識調査2020」

Tripadvisorにおけるホテル検索数 （対前年比指数）



- 欧州やアメリカ地域において、キャンプ場や貸別荘のような宿泊施設、アクティビティに関する検索が増加
- 調査時期：2020年3～5月

注）対前年比指数は、各宿泊施設に対する検索数の対前年比を、全宿泊施設に対する検索数の対前年比を100として算出している

資料：Tripadvisor, beyond COVID-19: The Road to Recovery for the Travel Industry (2020/5)

4. 十勝アウトドア観光推進プラン（目指すべき姿）

- 「地域の魅力を活かした自然と共生する持続可能な観光地」、「ウィズコロナ等に向けた安心・安全な観光地」を目指し、十勝アウトドア観光推進プランを策定。
- 令和5年度に宿泊客延数230万人泊等の目標を設定し、3つの視点に沿った取り組みを推進。

十勝アウトドア観光推進プラン

- 経済産業省北海道経済産業局、北海道十勝総合振興局、十勝19市町村が連携
- 以下**3つの視点**に沿った取組を推進（推進期間：令和3年度～令和5年度）

コロナの影響
からV字回復

i) 量から質への転換による魅力向上

食と自然を活かした富裕層向けサービスの充実やブランド力の強化等を実現。

ii) 国内回帰及びポストコロナを見据えた新市場開拓

地域資源を活かして、国内のアウトドア観光需要を喚起するとともに、ポストコロナを見据えて、インバウンドに対する取り組みを展開。

iii) ウィズコロナ等に向けた安心・安全な受入環境の整備

新型コロナウイルス感染症や災害を契機とする観光動向変容に応じた需要を取り込む。

目指すべき姿に向けた数値目標

宿泊客延数	230万人泊
観光入込客数	1,140万人
十勝アウトドア 観光消費額	8.9億円

※令和5年度の目標として設定

地域の魅力を活かした自然と共生する持続可能な観光地
ウィズコロナ等に向けた安心・安全な観光地

4. 十勝アウトドア観光推進プラン（推進体制）

- 取組の推進にあたっては、**地域の事業者や関係機関等との連携**を図りながら、推進期間内における状況等を踏まえ、柔軟に取り組む。
- 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ、弾力的に取組を進めていく。

十勝アウトドア観光推進プランに基づく地域連携イメージ

十勝地域における取組への積極的な支援

施策の活用・情報提供、プロモーション、環境の整備 等

十勝地域の事業者

・観光ガイド
・宿泊関係
・交通関係 等

十勝地域の関係機関等

・十勝観光連盟
・観光協会
・観光地域づくり法人（DMO）等

十勝アウトドア観光会議 等

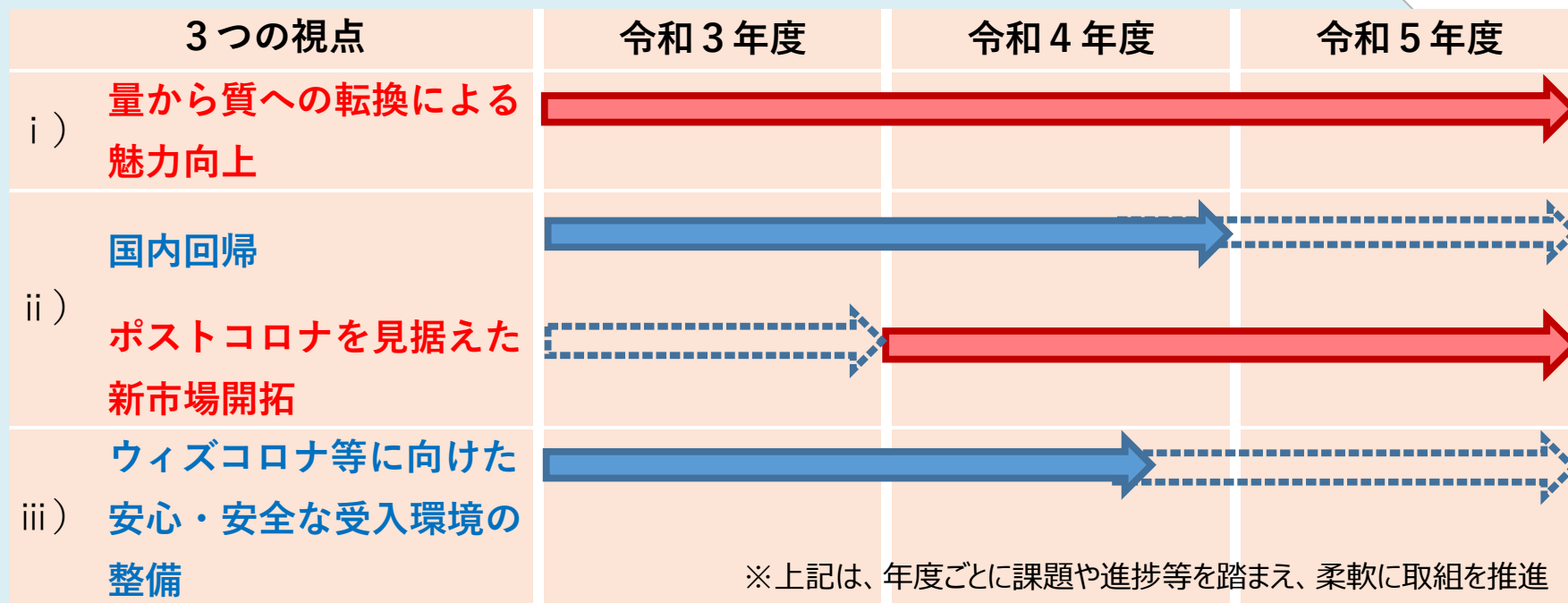
行政機関

・経済産業省北海道経済産業局
・北海道十勝総合振興局
・十勝19市町村

5. アウトドア観光の聖地「十勝」を目指すロードマップ

- 3か年（令和3年度～令和5年度）で推進することにより、十勝地域のアウトドア観光の目指すべき姿の実現を目指す。
- 3つの視点に沿う取組について積極的に支援等を実施。各年度の取組における課題や進捗等、推進期間内における状況を踏まえ、柔軟に取り組むこととする。

十勝アウトドア観光推進プランのロードマップ（イメージ）



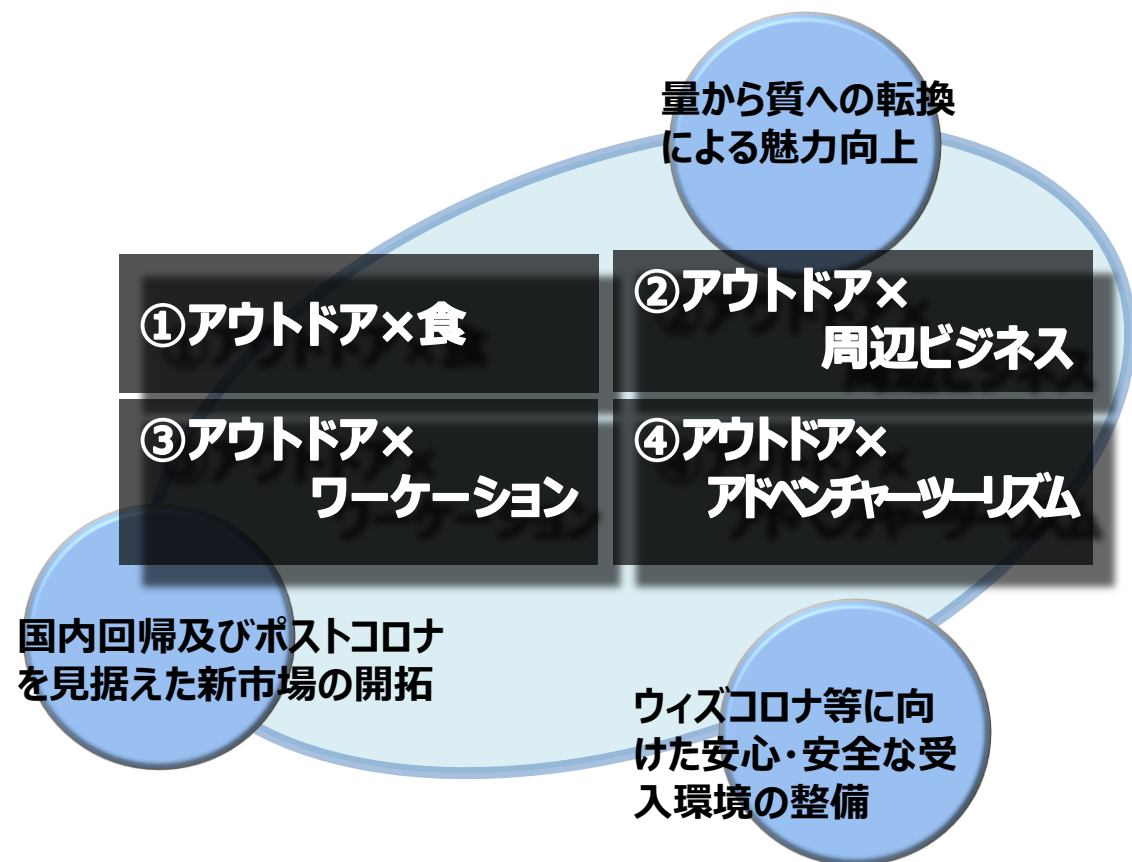
地域の魅力を活かした自然と共生する持続可能な観光地
ウィズコロナ等に向けた安心・安全な観光地

令和3年度における具体的な取組事例

●令和3年度の取組方針と支援のあり方

- 令和3年度は、本プランの3つの視点に沿って、**アウトドアを核とした重点テーマを設定。**
- 重点テーマに沿う地域の取組に対して、施策の活用等による積極的な支援を実施し、十勝地域の経済活性化に繋げる。

令和3年度の取組方針イメージ



重点テーマの支援

重点テーマの設定

十勝アウトドア観光推進プランの3つの視点をベースとし、具体化のための重点テーマを設定。

重点テーマに沿った支援

4つの重点テーマに沿った地域の取組に対し、

- 施策の活用・情報提供
- プロモーション
- 環境の整備

等の**積極的な支援**を実施。

十勝地域の経済活性化

●重点テーマ「アウトドア × ①食/②周辺ビジネス」

取組事例（１）：十勝アウトドアビジネス創出に向けた事業者マッチング

- 十勝地域における「新たな需要の創出」と「消費単価の向上」を目的として、令和2年度に、地域内外の事業者によるアウトドアビジネスの創出に向けた意見交換・マッチング会を実施。
- 令和3年度は、意見交換・マッチング会で創発された事業者ニーズ等を積極的に支援するとともに、事業の加速化を通じて、十勝地域における新たな取組の更なる推進を図る。

令和2年度取組

十勝アウトドアビジネス創出に向けた事業者意見交換・マッチング会

開催概要

- 日時：令和3年1月26日（火）
- 場所：森のスパリゾート 北海道ホテル
- 内容：事業者による概要紹介、グループディスカッション

参加事業者

- <十勝内> 観光関連、宿泊、小売、交通、食品卸
- <十勝外> 釣具卸、食品製造、人材派遣、金属加工製造

参加事業者の声

- ・普段は出会わない異業種の事業者と繋がることのできる良い機会になった。
- ・今後、新たなビジネスに繋がるよう対話をしていきたい。

令和3年度取組

アウトドア観光推進プランに基づく支援

（１）創発ニーズに対する施策等を活用した支援

意見交換・マッチングによって創発された新たな発想や活動等に対し、支援施策の活用等による支援を実施。

（２）事業加速化による更なる創発への環境づくり

十勝地域における新たな需要の創出及び消費単価の向上を見据え、本事業の取組を加速化。積極的な事業者の事業創発に向けた取組を支援。



●重点テーマ「アウトドア × ①食/②周辺ビジネス」

取組事例（２）：FEELD GOOD FES.EAST HOKKAIDO

- 国内におけるアウトドア観光需要の喚起を図るため、大規模アウトドアイベント「FEELD GOOD FES.EAST HOKKAIDO」を開催。
- 需要喚起とともに、地域アウトドア事業者等の商品・サービスの付加価値向上や販路開拓等を支援。

令和３年度の取組

FEELD GOOD FES.EAST HOKKAIDO

開催概要

- 日 時：令和３年６月１２日（土）～１３日（日）
- 場 所：北愛国交流広場（帯広市）
- 内 容：
 - ・最新ギアの展示・販売
 - ・フィッシング・キャストイング体験
 - ・４ＷＤ車、オフロードバイク等のメーカー展示・販売、デモンストレーション、体験試乗
 - ・キッチンカーによる北海道・十勝グルメの販売 等
- 主 催：
FEELD GOOD FES.EAST HOKKAIDO実行委員会

※令和元年度補正予算「共同・協業販路開拓支援事業」（経済産業省）を活用

アウトドア観光推進プランに基づく支援

（１）国内アウトドア観光需要の喚起

大規模アウトドアイベントの開催及びプロモーションにより、道央圏をはじめとする国内アウトドア観光需要の喚起を重点的に展開。

（２）地域事業者等の付加価値向上等支援

参画する地域アウトドア事業者等に対し、商品・サービスの付加価値向上や販路開拓等に加え、販売戦略の高度化等、多面的に支援。



●重点テーマ「アウトドア × ①食/②周辺ビジネス」

取組事例（３）：広域連携型サウナ観光「十勝サ国プロジェクト」

- 十勝地域は、サウナに適した自然素材（麦飯石、白樺で作ったヴィヒタ、モール温泉、日本一の清流である札内川の水質等）が豊富で、サウナの本場フィンランドの自然環境に酷似。
- 観光資源として注目される「サウナ」をコアに、全国に先駆けて展開しているアウトドアや食、域内外事業者と連携した十勝「サ国」プロジェクトを支援。

令和２年度取組

サウナパスポート



冬の観光の活性化を狙って実施したもの。今後、更なるサウナの活性化を目指している。

P R 事業



十勝の情報（アウトドア、食、サウナ等）も整理しつつ、映像資料の作成を検討中。

「十勝サ国プロジェクト」 （十勝サウナ協議会）

アウトドアサウナ



サウナテントを活用し、十勝の広大な自然を感じながらのサウナについても引き続き取組を強化。

サウナ飯



サウナで発汗した後、味覚が敏感になると言われている。美味しくて、体にも優しい「サウナ飯」の取組を実施。

令和３年度取組

アウトドア観光推進プランに基づく支援

（１）プロモーション支援

十勝地域におけるサウナの魅力を域内外に発信するための事業に対し、支援施策に関する情報提供やプロモーション等に関する支援を実施。

（２）事業展開に向けた支援

地域内外への事業展開に向けた顧客ニーズやターゲティングに資する事業等に関する支援を実施。



●重点テーマ「アウトドア × ③ワーケーション」

取組事例（４）：十勝地域ワーケーションの推進

- 北海道におけるワーケーションや十勝地域のアウトドア等を用いたワーケーションの推進を図るため、令和2年度は、北海道型ワーケーション普及・展開事業への参加や十勝ワーケーションガイドBOOKの作成を実施。
- 令和3年度は、札幌圏や首都圏の企業等を対象として、十勝地域へのアウトドア等を活用したワーケーションの誘客を図ることにより、新たな「関係人口」の創出・拡大を図る。

令和2年度の取組

北海道型ワーケーション普及・展開事業

北海道型ワーケーションの普及・展開を図るため、道内市町村と連携した以下の取組を実施。

- (1) 北海道型ワーケーション検討会議の開催（モデルプランの作成）
- (2) 首都圏企業ニーズの調査
- (3) PR動画、リーフレットの作成、Webサイトの開設
- (4) 受入手引の作成、普及推進会議の開催 等

十勝ワーケーションガイドBOOK

北海道のワーケーション事業に参画する十勝地域の市町村を中心として以下のガイドブックを作成。十勝地域へのワーケーション誘客を図る。

- (1) ワーケーション関連事業者の取組紹介
- (2) 十勝地域のサテライトオフィス、コワーキングスペース、シェアオフィス等の施設紹介
- (3) ワーケーション関連施設周辺の観光やアクティビティ、食、宿泊施設マップの掲載



令和3年度の取組

アウトドア観光推進プランに基づく支援

(1) 都市圏プロモーションの実施

札幌圏や首都圏における企業等を対象として、ワーケーションに関するニーズを把握するとともに、マーケットインの視点に基づく十勝地域でのワーケーションのプロモーションを積極的に展開。

(2) 事業加速化による ワーケーションの推進

ワーケーション需要の増加を見込み取組を加速化。関係機関等との連携を一層深めることにより、大都市圏から十勝地域への誘客を図る。

●重点テーマ「アウトドア × ④アドベンチャーツーリズム（AT）」

取組事例（５）：十勝地域アドベンチャーツーリズムの推進

- 2021年9月にアジア初となるAdventure Travel World Summit※2021（以下、ATWS2021）が北海道で開催。エクスカースョンに十勝地域のルートも採択。
- ATWS2021を契機として、十勝地域におけるアウトドアコンテンツを世界にPRし、欧米豪を中心とした観光消費額の高い新たな市場の獲得を目指す。

令和２年度取組

アドベンチャーツーリズムの推進

取組概要

- (1) 北海道経済産業局、北海道運輸局、北海道等の道内各機関の連携により、ATWSの北海道誘致を実現。
- (2) ATWS2021北海道実行委員会による開催に向けた活動を実施。
- (3) 広域AT商品・サービス開発に向けた連携を図るため、国内マッチング商談会の開催を支援。
- (4) 欧米の事業者とのオンライン商談会の開催を支援。



※Adventure Travel World Summitとは

ATの世界的団体である ATTA(Adventure Travel Trade Association[本部：米国])が主催し毎年開催する、世界最大のAT関連サミット。世界のツアーエージェンツやメディア等800人以上が参加。エクスカースョンやAT関連セミナーに加え商談会が開催される。

令和３年度取組

アウトドア観光推進プランに基づく支援

(1) 地域事業者の意識醸成及び受入環境整備

十勝地域のATに対する関心を高め、ATWS2021を契機とした観光消費額の高い新たな市場を開拓するため、AT関連セミナーの開催等により、十勝地域のATを推進。

<十勝地域でのATWS2021エクスカースョン例>

(プレサミット・アドベンチャー：3泊4日)

- ・大雪山国立公園唯一の自然湖
「然別湖カヤック&トレッキング」

(デイ・オブ・アドベンチャー：日帰り)

- ・大雪山国立公園唯一の自然湖
「然別湖シーカヤックまたはリバーウォッチング」